



## 2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年3月17日

上場会社名 株式会社学びエイド 上場取引所 東  
コード番号 184A URL <https://www.manabi-aid.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣政 愁一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 兼 総務課長 (氏名) 杉浦 久恵 (TEL) 03(6801)8521

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年4月期第3四半期の業績 (2024年5月1日~2025年1月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	195	△49.6	△245	—	△255	—	△260	—
2024年4月期第3四半期	388	—	46	—	45	—	54	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	△116.47	—
2024年4月期第3四半期	26.29	—

(注) 1. 2023年4月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2024年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。また、2025年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	288	192	66.8
2024年4月期	452	289	64.0

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 192百万円 2024年4月期 289百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年4月期	—	0.00	—	—	—
2025年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年4月期の業績予想 (2024年5月1日~2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283	△55.0	△299	—	△311	—	△314	—	△140.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年4月期3Q	2,259,300株	2024年4月期	2,068,100株
2025年4月期3Q	一株	2024年4月期	一株
2025年4月期3Q	2,233,903株	2024年4月期3Q	2,068,100株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果や、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復が続くことが期待される一方で、エネルギー価格、原材料費の高騰及び為替変動等による景気への影響が懸念されるなど、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

当社が属する教育産業全体の市場は従来からの少子化の流れの中で企業間競争が激しさを増しており、経営環境は依然厳しい状況で推移していますが、大学入試改革をはじめとする教育制度改革により、顧客のニーズは多様化し、より質の高い教育サービスを求める声が高まっております。

教育デジタル事業につきましては、政府の「新たな教育復興基本計画（令和5年～令和9年）」に掲げられているICT等を活用した多様な教育ニーズへ対応するため、ICTと従来の紙教材を融合させた教育現場に寄り添ったデジタル化や多様な学びに対応するためのコンテンツ制作を通じて、社会課題の解決とさらなる事業成長に向けて活動を行っております。

このような状況の中、当社は、『Be a Player.（教育の「意欲」の機会均等をあまねく達成し、前向きなひとをたくさん作る企業）』という企業理念及び『「教えたい」と「教わりたい」をていねいに紡ぐ。』という経営理念を掲げ、その実現に向かって取り組んでおります。

その中でも、効果の上がる「映像授業」と効率の上がる「管理機能」を搭載した映像学習サービス「学びエイドマスターforSchool」を大手学習塾に対して重点的に販売活動を行うほか、大学入試改革により総合型選抜をはじめとする推薦型入試に対応した学習塾のためのサービス「オンライン鉄人予備校 テツヨビ」「小論文添削道場」をリリースし、首都圏のみならず地方学習塾の教育サービスの充実をはかるための販売活動を行ってまいりました。また、これまで同様教材の「映像授業化」とそれを配信する「配信サービス」を提供する「学びエイド for Enterprise」を教育関連事業者に対して提供することに加えて、教育関連事業者の枠を超え、教育関連事業者以外の企業の中にある様々なマニュアルや企業理念といった「教えたい」と「教わりたい」を紡ぐためのサービス開発を行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における主な売上高は、「学びエイドマスター」が65,020千円（前年同期比12.0%減）、「学びエイドマスターforSchool」が60,173千円（前年同期比44.9%減）、「学びエイドforEnterprise」が62,653千円（前年同期比68.7%減）、全体で195,622千円（前年同期比49.6%減）となりました。また、営業人員をはじめとする採用活動の強化、新サービスの販売に係るWEBやSNSを中心とした広告宣伝活動を強化及び人員増、在宅勤務の減少などに対応するための本社移転を行った結果、営業損失は245,288千円（前年同期は営業利益46,452千円）、経常損失は255,397千円（前年同期は経常利益45,727千円）、四半期純損失は260,186千円（前年同期は四半期純利益54,379千円）となりました。

また、当社は教育デジタル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが当第3四半期累計期間におけるサービス区分別の売上高は以下のとおりとなります。

サービス区分	売上高（千円）	割合（%）	前年同期比（%）
学びエイドマスター	65,020	33.2	88.0
学びエイドマスターforSchool	60,173	30.8	55.1
学びエイドforEnterprise	62,653	32.0	31.3
その他	7,775	4.0	159.0
合計	195,622	100.0	50.4

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は225,964千円となり、前事業年度末に比べ166,426千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が38,453千円減少、売掛金及び契約資産が190,593千円減少したことによるものであります。

固定資産は62,064千円となり、前事業年度末に比べ2,120千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が5,637千円増加、有形固定資産が3,561千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、288,028千円となり、前事業年度末に比べ164,305千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は66,408千円となり、前事業年度末に比べ49,963千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が22,516千円、その他が15,724千円減少したことによるものであります。

固定負債は29,192千円となり、前事業年度末に比べ17,308千円減少いたしました。これは主に長期借入金が14,664千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、95,601千円となり、前事業年度末に比べ67,271千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は192,427千円となり、前事業年度末に比べ97,034千円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上により利益剰余金が260,186千円減少した一方で、株式上場に伴う新株式の発行等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ81,576千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月期の業績予想につきましては、2025年3月17日に公表いたしました「通期業績予想の修正及び役員報酬減額に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	141,607	103,153
売掛金及び契約資産	239,756	49,163
貯蔵品	4,243	3,915
その他	9,997	71,708
貸倒引当金	△3,214	△1,977
流動資産合計	392,390	225,964
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,703	57,909
減価償却累計額	△12,460	△17,446
建物（純額）	44,243	40,462
その他	11,388	13,985
減価償却累計額	△6,870	△9,249
その他（純額）	4,517	4,736
有形固定資産合計	48,761	45,199
無形固定資産	186	231
投資その他の資産	10,996	16,634
固定資産合計	59,944	62,064
資産合計	452,334	288,028

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	24,496	20,163
未払金	45,013	29,907
未払法人税等	22,516	—
契約負債	6,707	10,800
資産除去債務	—	3,624
その他	17,637	1,913
流動負債合計	116,371	66,408
固定負債		
長期借入金	37,845	23,181
資産除去債務	8,656	5,050
その他	—	961
固定負債合計	46,501	29,192
負債合計	162,872	95,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	120,122	201,698
資本剰余金	110,122	191,698
利益剰余金	59,216	△200,969
株主資本合計	289,461	192,427
純資産合計	289,461	192,427
負債純資産合計	452,334	288,028

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年5月1日 至2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年5月1日 至2025年1月31日)
売上高	388,429	195,622
売上原価	137,387	161,988
売上総利益	251,042	33,633
販売費及び一般管理費	204,590	278,922
営業利益又は営業損失(△)	46,452	△245,288
営業外収益		
受取利息	0	30
違約金収入	—	439
その他	—	0
営業外収益合計	0	470
営業外費用		
支払利息	725	441
株式交付費	—	2,399
上場関連費用	—	6,710
その他	—	1,028
営業外費用合計	725	10,579
経常利益又は経常損失(△)	45,727	△255,397
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	45,727	△255,397
法人税、住民税及び事業税	6,516	439
法人税等調整額	△15,168	4,349
法人税等合計	△8,651	4,789
四半期純利益又は四半期純損失(△)	54,379	△260,186



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月28日における東京証券取引所グロース市場への株式上場にあたり実施した公募増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ80,316千円増加しております。また、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ1,260千円増加しております。これらの結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が201,698千円、資本剰余金が191,698千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期累計期間（自2023年5月1日 至2024年1月31日）

当社は、教育デジタル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間（自2024年5月1日 至2025年1月31日）

当社は、教育デジタル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	4,692千円	7,461千円